財団法人 日本ハンドボール協会編　平成21年12月1日発行（毎月1回1日発行）　通巻506号　昭和40年6月7日第3種郵便物認可

ハンドボール

特集
第64回国民体育大会

12
DEC.2009・No.506

［表紙写真：第64回国民体育大会少年男子の部で優勝した福井県・杉本翔選手：撮影・石坂洋介］

すべては最善のために

(財) 日本ハンドボール協会常務理事（強化本部長）　**西窪 勝広**

「アジア№.1に返り咲く」をテーマとして、2009年度をスタートし半年が経過しました。2016年東京オリンピック開催の夢は消えましたが、強化に関しては休むことなくロンドンオリンピックに向け走り続けています。

NTS一貫指導体制による選手発掘活動は再構築ができました。又JHAアカデミーも各都道府県協会の強化担当の方に参集いただき、アカデミーの基本方針を説明いたしました。アカデミーキャラバン隊もスタートし、選手発掘に注力し、選手個々の強化にも努め、アカデミー生より男女日本代表にリストアップされるなど、徐々にではありますが成果が現れてきています。引続き、キャラバン隊を全国展開できる組織づくりを早急に進める必要性を感じており、そのためには強化スタッフの育成も重要な課題です。

又、JOC等からの様々なイベントの連絡は非常に重要です。すべてが強化に繋がる内容であり強化スタッフが参加可能な環境作りにも最善を尽くしていきます。

現在は、国、JOC、totoからの多額の助成金により強化が可能になっていますが、この現状を認識し取り組んでいかなければ、強化の助成金は減額されていく可能性も十分あります。その意味でも強化本部が最善を尽くし、強化スタッフと共に模範を示すことが重要であります。

「言うは易し　行うは難し」ではなく「アジアのチャンピオンになるのだ」そして「オリンピックに出場するのだ」と、強化スタッフ全員が強い意志を持ち、情報を共有し精進していくことが大きな目標の必達に繋がると確信しています。

勿論、現場の強化だけでは前に進むことはできません。審判部や技術委員会とも情報を共有し、アジアの分析や情報収集にも最注力していきます。

男女日本代表を筆頭に、各スタッフが必死に強化に努めてくれています。

今後は各カテゴリーの事業計画・選手名簿も常に情報公開し、皆様にいつでも観戦いただける環境整備も進めてまいります。

12月には中国で女子世界選手権が開催されますが、ロンドンオリンピックに向けての前哨戦と捉え戦ってまいります。

ハンドボール関係者のお力をお借りし、大きな夢に向かい取り組んでまいります。

引続き、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

第64回
国民体育大会
ハンドボール競技

〈成績〉

種別	優勝	2位	3位	4位	5　位
成年男子	広島県	愛知県	佐賀県	埼玉県	京都府、茨城県、大阪府、熊本県
成年女子	熊本県	鹿児島県	広島県	茨城県	石川県、宮城県、大阪府、香川県
少年男子	福井県	山口県	宮崎県	秋田県	大阪府、岩手県、長崎県、神奈川県
少年女子	京都府	大阪府	香川県	愛知県	岐阜県、岡山県、熊本県、石川県

【総評】大会を振り返って

新潟県ハンドボール協会理事長　山川 博行

天皇陛下におかれましては、本年、御在位20周年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。

第64回トキめき新潟国体ハンドボール競技が45年ぶりに10月1日の監督・代表者会議などの諸会議を皮切りに、競技は10月2日から6日までの5日間、新潟県の柏崎市、上越市、妙高市、刈羽村の3市1村の6会場で開催されました。ちなみに45年前の昭和39年も柏崎市で国体ハンドボール競技が開催されましたが、東京オリンピックと同年だったため6月に日程を変更して行われておりました。

開催地が離れている事で県協会の少ない競技役員の配置移動など新潟県協会国体部長には大変苦労をかけましたし、新型インフルエンザによる影響も心配されましたが、無事大会を終えたことを報告いたします

柏崎市、刈羽村は5年前に中越地震、2年前に中越沖地震の震災に見舞われ、莫大な被害を受け本国体開催、1年前のリハーサル大会も中止になったのにもかかわらず、ぶっつけ本番で大会を開催し、大会運営に多大なご尽力を頂きました事に大変感謝しております。

2度の大震災でお世話になった全国からのご支援に感謝とおもてなしの心で各県代表チームを迎えて本国体を運営していくという気持ちは新潟県の総意でもありました。妙高市でハンドボールの大会を開催するのは初めてでしたが、開催地の実行委員会にスムーズな運営を心掛けて頂き、ハンドボール不毛の地でしたが、ハンドボールの市になるような勢いが感じられました。

上越市の会場では体操競技が1日ハンドボール競技の日程に食い込んでしまい、10月2日の体操競技終了後、夜を徹してハンドボール会場へ変更準備をしていただいたという事も県ハンドボール協会あげて感謝しております。

新潟県にとって大会結果は決して満足のいくような成績ではありませんでしたが、県民が実際に会場へ足を運んで試合を見て、大歓声でチームを応援しハンドボールの魅力に触れハンドボールを認識した事と、新潟県協会員が全国の指導者や選手と触れ合い、いろいろなプレーを見て勉強し、なおかつ大会を運営した事はこれからの新潟県協会にとってかけがえのない宝物を得た事と確信しております。

国体後の話ですが、ある市で体育館新築の話があり、国体を機にハンドボールの正規コートがとれる様フロアーの大きさを考え直すとの話も頂いておりますし、ジュニアチームの立ち上げという話も頂いております。これこそが国体の真意と感じ、新潟県ハンドボール協会はこれからもハンドボールの普及、発展、強化に邁進していく所存です。

最後に大会運営の不備で各県のチーム選手、関係者にご迷惑をかけた事をお詫び申し上げるとともに、本大会の開催にご尽力いただきました（財）日本ハンドボール協会、北信越ハンドボール協会、新潟県、柏崎市、上越市、妙高市、刈羽村の各開催実行委員会、ボランティアに参加していただいた全ての皆様に心から感謝申し上げますとともに、2010年の千葉国体の成功を祈願いたします。

戦　評

■成年男子（決勝戦）

広島県　29（16－11、13－10）21　愛知県

成年男子決勝戦は、準決勝を1点差で競り勝って勝ち上がった広島県と、愛知県の日本リーグ勢対決となった。先行したのは愛知県。⑨武田の左45度からのカットインで先制する。しかし、広島県も⑤今井選手のポストシュートで追いつくと、愛知県が取ると広島県が追いつくという展開でゲームが流れる。この均衡を破ったのは広島県。7分⑨新選手の右サイドシュートで逆転に成功すると、堅い守りから相手の攻撃を止めて確実に得点を重ねて3点のリードを奪う。しかし、愛知県も②野村、④末松、⑨武田のミドルシュートで盛り返し、20分には1点差まで詰め寄るが、ここで⑨武田が2分間退場となる。広島県はこのチャンスを逃さず、⑥東長濱、⑩古家のミドルシュートなどでたたみかけてリードを4点差に広げる。23分愛知県はタイムアウトを取り流れを変えようとするが、広島県GKの⑫松村が愛知県の速攻を2本続けて止めるなどの好守で食い止め、逆に広島県がリードを広げて、16対11と広島県が5点リードして前半を折り返す。

後半、追いつきたい愛知県は、カットから⑥熊谷の速攻で後半も先に点を取るが、ここから引いてしっかり守る広島県ディフェンスの前にミスを重ねたり、GK⑫松村にノーマークのシュートを何度も防がれたりして得点を奪えず、逆に広島県が⑪谷村のミドルシュート、⑤今井のポストシュートなどと多彩に攻め15分までにリードを9点にまで広げる。反撃を狙う愛知県はタイムアウトを取り、再開後は⑩岸川の左45度からのミドルシュートや⑥熊谷の速攻からのシュートで連続得点をあげ追い上げムードを高める。しかし、ここから広島県がディフェンスを立て直し、粘り強く愛知県の攻撃を防ぎ、着実に得点を重ねて追いつかせない。愛知県も④末松の左45度からのスタンディングシュートなどで終了間際追い上げるが及ばず、広島県が29対21で逃げ切り栄冠を手にした。追い上げて勝負所で2分間退場を出してしまい追いつききれなかった愛知県に対して、GKを中心に粘り強く守り、巡ってきたチャンスを着実にものにした広島県の勝負強さが勝利へと導いた。

■成年女子（決勝戦）

熊本県　28（10－10、14－14 / 4－1、0－2）27　鹿児島県

緊張感のある中で始まった決勝戦。熊本県対鹿児島県は、熊本県⑧石立のカットインシュートによって始まった。しかし、直後熊本県は退場者を出してチャンスになった鹿児島県は⑦高橋のサイドシュートで同点にする。オフェンス・ディフェンスともに激しいぶつかり合い。9分に鹿児島県⑥儀間がミドルシュートを決めると、4対3と両チーム一歩も引かない。熊本県はセンターに高いディフェンスを置き、鹿児島県のロング・ミドルシュートをことごとく止める。鹿児島県も固いディフェンス、キーパー①飛田の好セーブで、熊本県の得点を許さない。18分時点では6対5と、一進一退の展開になる。19分、鹿児島県⑤田中がステップシュートを決め同点にすると、すかさず熊本県はタイムアウトを取り、士気を高める。そして、熊本県④市村がディフェンスの裏を走りこんでのサイドシュートで逆転。その後、両チーム互角のすさまじい戦い。前半終了間際、熊本県⑩東濱のミドルシュートにより、10対10の同点。鹿児島県キーパーの好セーブが光った前半戦だった。

後半は、熊本県のスローオフで始まった。鹿児島県が⑦高橋のスカイシュート、⑨高栖のポストシュートを決めると、

熊本県は⑩東濱のミドルシュート、③高田の速攻により応酬する。鹿児島県は、相手②藤井にマンツーマンディフェンスをつけ、攻撃を封じようとする。しかし、熊本県は、⑩東濱が3連続得点をあげると、9分③高田がシュートを決めるなど、流れは熊本県に。12分には19対17と2点差。その後、熊本県から退場者が出ると、それを機に鹿児島県⑥儀間がカットインシュートを決めるなど、20対20の同点になる。熊本県が得点を決めると、鹿児島県はクイックスタートですぐに取り返す。互いに素晴らしいディフェンス、スピードあるオフェンスと、見ごたえのあるプレーが続いた。22分から互いに決め手を欠き、得点がないまま試合が進む。28分過ぎに鹿児島県が、早い展開から⑨高栖がスカイシュートを決める。しかし、29分に熊本県は同点にする。残り13秒で鹿児島県はタイムアウトを取るが、鹿児島県のシュートは枠を外れ、24対24の同点で延長戦に突入する。

延長戦前半突入から、両チームとも早い展開。お互い1点ずつ決めると、熊本県③高田が3連続得点をあげ、28対25と流れをつかむ。後半、鹿児島県③長野がカットインシュートを決めると、続いて⑤田中も執念でサイドシュートを決める。1点差に詰め寄るが最後の決め手がなく、28対27で熊本県が優勝を決めた。

■少年男子（決勝戦）

福井県　34（19－11、15－17）28　山口県

開始早々、山口県⑩角田の速攻が両チームの初得点であった。対する福井県は⑤平子のカットイン、センターからのロングシュートで3分に同点とする。福井県は3－2－1のディフェンス、山口県は6－0のディフェンスで両チームとも堅固なディフェンスを展開する。また、福井県GK⑫角谷、山口県GK⑫田村がノーマークシュートを防ぎ、9分まで4対3で山口県がリードしたロースコアの試合が続く。その後、山口県⑥田中の速攻が決まり一時3点差に広げたが、福井県も④村田のシュートや⑩藤江のカットインプレーなど4連続得点で17分には8対7と逆転する。19分、福井県は1人退場の状況となったが、②杉本の45度からのサイドシュート、⑪大倉のポストシュートなどで逆に点差を広げることとなった。21分にタイムアウトをとった効果もあり、山口県③久保の45度からのロングシュートが決まる。しかし、福井県⑤平子のセンターからのロングシュートや②杉本の45度からのロングシュートが冴えわたり、19対11の8点差で前半を終えた。

後半開始早々、山口県が退場者を出し、福井県⑨林の速攻で差を広げる。山口県④三品や⑥田中のカットインプレーなど4連続得点で11分までに7点差までつめる。12分に山口県が退場者を出したことや福井県④村田のディフェンスからの速攻が決まり、17分には10点差とする。山口県はオールコートのマンツーマンディフェンスに切り替え20分に8点差までつめる、しかし、ディフェンスの隊形変化に適応し、福井県②杉本のセンターからのロングシュートや③柴山の45度からのロングシュートで反撃を許さない。山口県は③久保の12得点の活躍や、GK⑫田村がノーマークのシュートを防ぐなどしたが、点差は縮まらず34対28で福井県が6点差で優勝した。

■少年女子（決勝戦）

京都府　28（14－5、14－14）19　大阪府

京都府⑧角南のセンターからのロングシュートで決勝の火蓋が切られ、その後も京都府④船越の速攻からのシュートなどで4連続得点をあげた。開始6分、大阪府③竹下のポストシュートが決まり反撃を開始。京都府は10分からシングルポスト、ダブルポストを駆使し、京都府⑤角南のポストシュート、速攻からの連続シュートで7対2と試合を優位に進めていく。6－0ディフェンスを立て直した大阪府と5－1ディフェンスが崩れない京都府と互いに我慢の続く中盤であったが、17分、大阪府⑨村尾がサイドからセンターに切れ込むシュートを決めた。さらに京都府が1人退場した機会を逃さず20分には大阪府は3点差につめた。21分、京都府⑧角南が7mスローを確実に決め、5点差のまま終盤を迎える。24分には大阪府が退場者を1人出した機会を生かし、京都府⑤角南がポストから、⑦田村がサイドからシュートを決める。大阪府はタイムアウトをとり再びディフェンスを立て直すが、京都府⑨眞継がサイドからシュートを決め、14対5の9点差で前半を終えた。

後半、京都府④船越が45度からカットインプレーやロングシュートを連続して決め主導権を渡さない。対する大阪府は、勝負どころで③竹下にボールを集め、④水田の速攻、⑦井野のポストプレーなどで連続得点をあげ、9点差のままとなる。10分から京都府は④船越、⑧角南のロングシュートで対抗する。直後に京都府は退場者1名を出すものののGK⑫松本の好守や④船越の速攻でピンチをしのぐ。16分、大阪府⑧川島の速攻、⑥角南のカットインプレーで追うが、京都府⑧角南のロングシュートや④船越が45度からのロングシュートを決め、大阪府の追従を許さない。終盤、大阪府③竹下がポストからのシュートを決め最後まで勝負をあきらめず対抗したが、9点差のリードを保持した京都府が28対19で優勝した。

成年男子：広島県

国体を振り返って

広島県成年男子主将　福田 大樹

新潟県にて開催されましたトキめき新潟国体、第64回国民体育大会ハンドボール競技にて優勝を勝ち取ることが出来ました。

これも日頃からより良い環境でハンドボール活動ができるよう、ご理解・ご協力いただいている多くの皆様方の支えあっての賜物だと感謝しております。

今大会を振り返ると、6連覇のかかった埼玉県、実業団選手権大会優勝の大同特殊鋼単独チームの愛知県、昨年、3位決定戦で敗れた佐賀県と強豪が準決勝まで勝ち進み、苦しい展開になると誰もが予想しました。準決勝の埼玉県戦では序盤から1点を争う試合展開となりリードされましたが、集中力をきらすことなくなんとか食らいつき、1点差ではあるものの勝利することが出来ました。決勝戦では負傷者を出し苦しいチーム状況ではありましたが、いい意味で選手全員が開き直り、個人の役割をしっかりと果たした結果、粘り強いプレーとなり優勝を勝ち取ることが出来ました。私自身、主将となって初のタイトル、そして初の国体タイトルということもあり大変うれしく思っております。

国体は優勝しましたが、タイトルを一つ取っただけのことで、まだまだ通過点だと思っております。今回の結果に慢心することなく、今後も課題の地力アップと、精神面の強化に努め、残りの二つのタイトルを奪取できるようトレーニングに精進する所存ですので、今後とも変わらぬ御声援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、大会運営にあたりご尽力いただきました関係者の皆様、あたたかく見守ってくださいました地域の皆様、本当にありがとうございました。

写真提供：スポーツイベント社

写真提供：スポーツイベント社

成年女子：熊本県

国体を振り返って

熊本県成年女子主将　坂元 智子

第60回国民体育大会で2年ぶり、12回目の優勝を飾ることができました。

この優勝は私達の力だけではなく、影で支えてくださる方々や応援してくださる沢山の方々のお陰だと、心より感謝しています。

今大会に臨むにあたり、9月に開幕した日本リーグでの開幕戦、第4戦の敗戦など、チーム状況は良いといえるものではありませんでした。

そんな不安を抱えたまま新潟に乗り込んだのですが、チーム全員が危機感をもち、試合に臨んだことが優勝という結果に繋がったのだと思います。

また、今大会チームとして「攻守にわたり攻める意識」、「基本行動の徹底」をテーマに、全員がこれを徹底したことが大きな勝因だったのではないかと感じています。

試合内容としましては、準々決勝から決勝まですべてが1点差、決勝では延長までもつれこむという本当に苦しく辛い戦いでしたが、全員が勝ちたいという気持ちを心と体で表現し、粘り強い戦いができたと同時に、1点の重みを感じさせられる試合でした。

自分自身、試合終了のブザーが鳴った瞬間、緊張感から解放され嬉しいという気持ちはもちろんですが、疲れた…というのが正直な気持ちでした。

これから日本リーグ・総合選手権と続きますが、今大会の優勝を自信としチーム一丸となり頑張っていきたいと思いますので、ご支援・ご声援をよろしくお願い致します。

写真提供：スポーツイベント社

少年男子：福井県

新潟国体を振り返って

福井県ハンドボール競技総監督　志々場 修二

10月2日～5日まで、新潟県で開催されました第64回国民体育大会におきましては、秋田国体に続き2回目の優勝という最高の結果で大会を終えることができました。大会運営に尽力されました関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年は、春の選抜大会で昨年に引き続き優勝できたものの、インターハイでは、春の決勝相手、興南高校に大差で敗れ、悔しい思いをしました。3年生にとっては、最後の大会となる本国体では、初戦から、本来の力を十分発揮し、2年ぶり4回目の決勝へ進むことができました。決勝では、山口県との戦いとなり、前半こそリードを許す場面があったものの、得意の連続速攻で、相手を突き放し、国体では2度目の優勝することができ、春の選抜と合わせ2冠を獲ることができました。

最後になりましたが、日頃からご支援、ご協力いただいております県体育協会ならびに県ハンドボール協会の皆様方に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

少年女子：京都府

国体を振り返って

京都府少年女子（洛北高校主将）　角南　涼

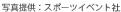
第64回国民体育大会において、優勝することができ本当に嬉しく思っています。ご支援を頂きました皆様、会場まで足を運んでくださいました方々に感謝いたします。本当に有難うございました。

選抜大会、インターハイと負け続け、ここまでの道は本当に苦しく簡単なものではありませんでした。「自立」することができず、何度も壁にぶつかる日々でした。ですが、たくさんの経験をし、楠本先生はじめ多くの方々に指導して頂いて、常に前を向いて、一試合、一試合重ねるごとに自信へと変えることができました。

愛知選抜、大阪選抜と、春夏のリベンジのチャンスを頂き、試合では、「守って速攻」という自分たちのハンドボールをすることができました。今までにはなく、試合を楽しむことができました。

負けることの悔しさ、勝つことの喜び、楠本先生には、ハンドボールだけでなく、人として大きくなることを教えて頂きました。3年間、楠本先生の下でハンドボールができ、たくさんのことを学ばせて頂き本当に良かったです。有難うございました。楠本先生、大好きです。

私たちは、ここで終わりではないので、今大会での反省点を踏まえ、一人一人がもっと成長し大きくなれるよう、これからも自分の道へと向かって頑張っていきます。

最後になりましたが、今大会で運営して頂いた大会関係者の方、会場で声援を頂きました皆様、そして私たちを支えてくださった全ての方々に感謝いたします。これからもご支援、ご指導よろしくお願いいたします。本当に有難うございました。

写真提供：スポーツイベント社

日韓ハンドボールの絆

映画「私たちの生涯最高の瞬間」の放送にあわせ、ハンドボールの魅力に迫るWOWOWオリジナルドキュメンタリーもお届け。

©2008 MK PICTURES ALL RIGHTS RESERVED

映画

04アテネ五輪ハンドボール銀メダルの感動実話を映画化!

2010.1.6[水] 夜7:00

ドキュメンタリー

映画の主人公のモデル"林五卿(イム・オキョン)"さんの教え子である植垣選手の日々を追いながら、日本女子ハンドボールの挑戦に迫る。

日本女子ハンドボールの挑戦!
エース"植垣暁恵"に託された想い

2010.1.6[水] 夜9:10

今こそWOWOW!

スタート割

＼ 今日から見られる! ／

翌月末まで945円!

[B－CASカード1枚につき1回限り]

0120-808-422 9:00~20:00 年中無休

パソコン・ケータイ

24時間受付中

※「スタート割」は、デジタルWOWOWに加入される方が対象で、B-CASカード1枚につき1回限り、初回視聴料945円、それ以降の月額視聴料が2,415円となります。(月刊プログラムガイド誌付) ※ご加入月の視聴料はかかりません。※ J:COM、スカパー!経由でご覧の方は、それぞれのカスタマーセンターへお問い合わせください。※ ケーブルテレビ局経由でご覧の方も、上記案内ダイヤルまでお電話ください。※ BSデジタル放送を受信できる方は、本日からご覧いただけます。※ 新たにデコーダが必要な方の加入受付は終了しております。※金額は全て税込みです。

ケーブルテレビ局、スカパー!でもWOWOWをご覧いただけます。

これからのテレビ

報告

第13回女子 U-16 日韓スポーツ交流

9月16日～22日（韓国）／9月25日～30日（日本）

日本代表女子 U-16 監督　細津　誠

1．スポーツ交流にむけての取り組み

本年度は、日韓スポーツ交流のための強化合宿を8月26日～28日の2泊3日、味の素ナショナルトレーニングセンターで行いました。短時間の合宿であるため、個の能力を引き出すための練習と世界を意識したDFを狙いとし取り組みました。また、この世代の日本代表であるということの自覚と責任を意識させ、ミーティングではユース代表の岡本大コーチにユース予選の対韓国戦のビデオを見ながら指導していただきました。短い日数ではありますが、できるだけの準備をして韓国戦に備えました。

チームの指導は、この年代の選手にまず経験させること、体感させることを第一に考え全ての選手にチャンスを与えました。全員が体験を共有することで主体的に考え会話も増え、意識が高まることと、何より経験を通じ自信と課題を持つことで、今後の成長がさらに期待できると考えました。

2．交流活動と親善試合

訪韓では、2回合同練習を行いました。韓国側がリードした合同練習では、日本の選手がトップスピードに戸惑い圧倒され、その後のトレーニングマッチは、18日に27対20で負け。19日のゲームでも28対21で負けました。

韓国チームは全国の上位4チームから編成し、能力の差はあまりないとは話していましたが、試合に出場するメンバーはほぼ一定でした。日本はみんなが約25分間は出場することで、やらなけらばいけないことの共通理解も深まりチームとしてまとまりつつありました。合同練習の合間に強化合宿で行った3－3DFのライン作りとアウトへ誘い追い込むDFの確認をし、20日の親善試合に臨みました。

親善試合では、ゲームのスタートがよくDFからの速攻のミスも少なく、縦へつなぐ走りで全員の得点意識も高く集中できていました。しかし、セットで攻めあぐんだ後の逆速攻と角度の少ないサイドシュートを決められ離されました。後半はDFの動きに予測・読みも加わり流れるように連動し追い上げましたが、前半の失点から2点差が縮まらず3点差で終わりました。DFが機能したことが一番の手応えであり、課題を1人1人に助言し、日本では4点差以上で勝つことを目標におきました。

25日に再び味の素ナショナルトレーニングセンターに集合しました。受け入れも2回の合同練習を行い、その合間に新たなチャレンジとして6－0DFの練習を行い、30分のトレーニングマッチで試しました。翌日も新たな課題として3－2－1DFをトレーニングし挑戦しました。オフェンスでは、できることの確認を行いました。短時間ではありましたが、選手全員に挑戦させること、適切な判断で常に自らプレーすることを強調し追求させました。ゲームの結果は、牽制とクロスアタックを多用した6－0DFではロングシュートによる失点も多くなり9点差で負け。3－2－1DFのゲームは接触によるミスが増え、7点差で負けました。しかし、選手はコーチングスタッフの新たな課題を持ち挑戦することを理解し、果敢にプレーしてくれました。

受け入れの親善試合では、もう一度最初のDFシステムを確認して臨みました。試合は、固くなりパスキャッチのミスが続き、焦りから逆速攻のドリブル突破を受けてしまい、動きの良さが出せないまま前半が終了しました。ハーフタイムの、角団長の言葉に選手は目覚め、追い上げましたが、前半の差が大きくまた、相手GKの好守もあり詰め寄ることができませんでした。接触プレーに慣れていないことや気持ちの弱さ、体幹の弱さなど課題があり、スタッフとしては、短時間のなか攻撃の練習にもっと時間をかけ、チーム戦術として機能できるようにしていればと反省し悔やまれます。

3．スポーツ交流を終えて

選手は、短期間ですが、打倒韓国のためスタッフの要求に

応え、合宿からの吸収力と実行力はすばらしいものでした。今回の経験で「トップスピードの正確なプレー」の重要性と強いコンタクトの体作りの必要性を理解し、そのためのトレーニングを実行していかなければいけません。体験したことを活かし努力を続けて欲しいと思います。また、内容のよい場面が数多くあり、「やればできる！」という自信と負けた悔しさから打倒韓国のスタートになったと思います。

最後になりますが、今回の交流の参加に際し大事な時期に選手を派遣していただいた各学校の先生方、素晴らしい環境を提供していただいた協会と味の素ナショナルトレーニングセンターのスタッフの皆様に心から感謝申し上げます。選手派遣についてお力添えくださいました西窪強化本部長をはじめご指導いただきました日本協会の関係方々にも深く感謝申し上げ、活動の報告といたします。

写真提供：スポーツイベント社

戦　評

■９月20日

日　本　25（11-16, 14-12）28　韓　国

戦評：試合開始直ぐに、韓国６番に速攻に持って行かれ、５番千葉が警告を受けて、７ｍスローの１点目から始まる。８番笠原のカットインで応戦するが、韓国の早いフェイントから点数を重ねられ、前半12分３対８と先行される。その後11番川畑のカットインで追い上げにかかる。高めのDFも徐々に連携が取れ追い上げる。４番小畑の退場時６点差となるが、前半終了間際に14番眞島の７ｍスローにより11対16で前半を終わる。

ハーフタイムでは、DFシステムと闘争心を確認し後半に臨んだ。

後半に入り、日本はルーズボールに食らいつき５番千葉の速攻で先取点。15番永田の長身を活かしたポストにより連続得点。退場者が出たものの、ボールに対する執着心は日本が上回り、15番永田のパスカットから13番太刀川の速攻で19対22。相手のエース４番にミドルシュートで反撃されるも、15番永田の速攻で20対23。続いて５番千葉のカットインにて21対23の２点差に追い上げる。その後お互い点の取り合いとなる。16番佐々木のミドルシュートにて25対27。最後韓国の３番にサイドシュートを決められ25対28で試合は終わった。

日本のGKは特にサイドシュートに対し頑張りを見せたが、韓国の個々の能力は日本を上回り、フェイント力、シュート力を向上させ乗り越えなければいけない。今回の韓国チームは、特に４校から能力の高い選手が集まっているようで、相手スタッフも自信を持っていた。日本はシステム確認に十分時間が取れない中、闘争心は韓国を上回る戦いとなった。

得点：６点：笠原、４点：眞島、３点：永田、佐々木、２点：千葉、川畑、１点：小畑、塩津、松本、福井、太刀川

■９月28日

日　本　21（７-18, 14-11）29　韓　国

戦評：５番千葉のカットインにて日本先行でゲームスタート。その後、相手の強い１対１とポストプレーにて９点連続得点を韓国に許す。13番佐々木のミドルシュートで巻き返しを図るが、DFの足が止まり、当たりが弱くなる。また、ルーズボールをものに出来ず、前半７対18にて大差をつけられる。

ハーフタイムでは気持ちの弱さに喝を入れ後半に入った。13番太刀川、３番石井の両サイドシュートにて４連続得点、８番笠原、15番永田の得点で13対19の６点差に詰めるが、韓国の正確なプレーの前に、それ以上差は縮められなかった。21対29と韓国の勝利にて終了した。前半の連続得点が最後まで響いてしまった展開だ。技術面、精神面ともにこの経験を今後の練習に活かして欲しい。

得点：７点：太刀川、５点：石井、４点：佐々木、１点：千葉、堀川、笠原、眞島、永田

特定計量器対応

あなたの

自分の体を「見た目」や、「思

ITO-InBody370は体の4大

ITO-InBody検査表

I. D. MS104 | 身長 170cm | 性別 女性
年齢 25才 | 体重 73.7kg | 測定日時 2009.05.18 08:26:37

InBody検査とは

InBody検査は、私たちの体を構成している体成分が均衡的なのか、腕と脚はバランス良く発達しているのか、腹部に脂肪は溜まっていないかなどが一目で分かる検査です。定期的なInBody検査で体の健康をチェックしていきましょう。

1 筋肉と脂肪の割合

	測定値	標準範囲
体重	73.7kg	51.6 ~ 69.8
骨格筋量	25.0kg	23.2 ~ 28.4
体脂肪量	27.9kg	12.1 ~ 19.4

2 除脂肪量 & その構成成分

	測定値	標準範囲
除脂肪量	45.8kg	42.2 ~ 51.4
体水分	33.4kg	31.0 ~ 37.8
タンパク質	9.0kg	8.3 ~ 10.1
ミネラル	3.47kg	2.85 ~ 3.50

• ミネラルは推定値です。

3 部位別筋肉バランス

	筋肉量	体重に対する発達率
右腕	2.10kg	101.0%
左腕	2.10kg	100.7%
胴体	19.6kg	86.1%
右脚	7.54kg	96.8%
左脚	7.64kg	98.1%

4 身体バランスチェック

上半身バランス	✓均衡	やや不均衡	不均衡
下半身バランス	✓均衡	やや不均衡	不均衡
上下バランス	✓均衡	やや不均衡	不均衡

5 身体強度チェック

上半身強度	✓標準	発達	弱い
下半身強度	✓標準	発達	弱い
筋肉強度	標準	強い	✓弱い

6 メタボ情報

BMI 25.0 18.5

腹囲 90.8cm

7 理想的な

調節すべ
調節すべ
調節すべ

8 基礎代謝

1359 kcal

9 身体点数

体成分の割
体に点数を

メモ

• 収縮期血圧 98 mmHg
• 拡張期血圧 67 mmHg
• 脈拍数 67 bpm

インピーダン

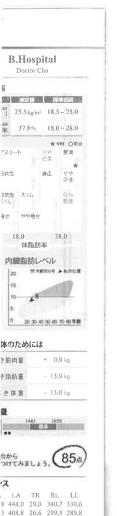
Z RA
20kHz : 443
100kHz : 407

測定ガイド付き高精度体成分分析装置

ITO-InBody370

っ体を正しく知る。

い込み」で判断していませんか？

構成成分や骨格筋、脂肪、部位別の筋肉バランスを高精度に測定します。

見やすく分かり易い結果用紙と測定結果

ITO-InBody370 は、現在の身体情報だけでなく具体的な調節量や調節するためのプランを示し、改善計画を誰でも簡単に立てることができます。

1 筋肉・脂肪のバランスは？ 筋肉と脂肪の割合

標準に対する実測値の割合を棒グラフで示しています。体重、骨格筋量、体脂肪量の先端を結んだ形が何型になるかによって体のタイプが分かります。

2 私の体は何でできてる？ 除脂肪量＆その構成成分

除脂肪量は体重から体脂肪量を差し引いた、脂肪以外の成分です。除脂肪量を構成する成分としては体水分・タンパク質・ミネラルです。

3 筋肉バランスはとれてる？ 部位別筋肉バランス

上下半身の筋肉の発達度合いや左右のバランスが分かりますので運動療法の判断基準になります。

4 筋肉のバランスをチェック 身体バランスチェック

身体バランスは各部位別筋肉量が均衡的に発達しているかどうかをチェックします。

5 部位別筋肉の強度を評価 身体強度チェック

現在の筋肉量が自分の体重を支えるのに十分に発達しているのかをチェックします。

6 見た目だけで判断してはいけません メタボ情報

様々な角度から体やお腹の肥満状態を確認できます。体重や見た目だけでなく、体脂肪がポイントです。

7 適切な筋肉と脂肪の調節量は？ 理想的な体のためには

体成分状態から算出された適正体重に対して、筋肉・脂肪の調節量を表しています。

8 エネルギー代謝量はどのくらい？ 基礎代謝量

高くなると消費エネルギーが高くなり、体重調節がしやすくなります。

9 私の体は何ポイント？ 身体点数

90点未満なら弱い、90点以上は標準、100点以上は強いに該当します。

7インチ大画面フルカラー液晶　タッチパネル・音声ガイド式

個人情報入力画面

体成分測定画面

お問い合せ等はこちらまで。お気軽にお問い合せください

販売元 伊藤超短波株式会社

東京都練馬区豊玉南3-3-3　http://www.itolator.co.jp/

メディカル事業部　本　社：〒113-0001 東京都文京区白山1-23-15 TEL. 03(3812)1216(代)・FAX. 03(3814)4587

仙台	TEL. 022(306)7667	FAX. 022(306)7688
東東京	TEL. 03(3812)1217	FAX. 03(3814)4587
西東京	TEL. 03(3812)1218	FAX. 03(3814)4587
名古屋	TEL. 052(701)4515	FAX. 052(701)6905
東大阪	TEL. 072(242)1041	FAX. 072(242)1040
西大阪	TEL. 072(242)1043	FAX. 072(242)1040
広島	TEL. 082(506)1421	FAX. 082(263)9070
福岡	TEL. 092(573)6053	FAX. 092(573)0218
デンタル部門	TEL. 03(3812)4151	FAX. 03(3814)4587
臨床治験部	TEL. 03(3812)4152	FAX. 03(3814)4587

間寛平「アースマラソン」を応援しています！

私たち伊藤超短波は公式スポンサーとして、酷使する肉体のコンディショニングサポートを通じてアースマラソンを支えています。

～都道府県旗で埋めよう～

企画・広報委員
早川　文司

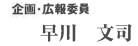
話はおよそ１年前にさかのぼり少々恐縮ではあるが、再びその時期が近づき、私の脳裏によみがえってきた。そこで、今回のテーマにさせてもらった。

2009年の始まりである１月１日。私は東京・国立競技場にいた。理由はサッカーの天皇杯全日本選手権決勝が開催されるからだ。対決はプロリーグのJ1同士、ガンバ大阪と柏。結果は１対０でガンバ大阪が優勝した。

でも、今回のテーマは勝敗のことではない。スタジアムに入って大空を見上げた時の光景なのである。メーンスタンドを除くスタンドの最上段にはためいていたフラッグが目に入った。メーンポールには日本サッカー協会旗、共催社の旗が掲げられていたが、それを囲むようにはためいていたのが都道府県旗だった。

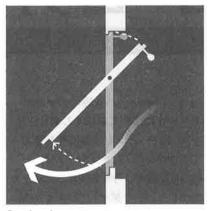
各都道府県の予選を勝ち抜いた“おらがチーム”をたたえているようにさえ見えた。一方で「こんな大会がハンドボール界で開けないかな」の思いが浮かんできた。

この天皇杯は日本サッカー界のメーンイベントだ。プロがあるサッカーだが、その枠を超えたアマチュアを交えて、一発勝負のトーナメントで頂点を競う大会である。

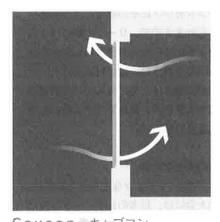
ハンドボール界で言えば全日本総合選手権に当たるが、総合選手権は各都道府県から積み上げた大会ではない。各地方予選を勝ち抜いて晴れの決勝大会に臨める大会があれば、地方に刺激を与え、活性化につながってくることが考えられる。

“おらがチーム”の応援にも熱が入るだろう。一発勝負は何が起こるか分からない波乱を含んでいるとも言える。地方から盛り上げて最後の舞台はどこか「固定」した会場で開く―夢のような話かも知れないが、不可能だろうか。

日ごろはあまり勝負にこだわらず、楽しむことで満足しているチームにも“全国”の距離が近づいてくる気持ちになってくるはずだ。

レベルのあまり高くないチームも、格上チームに思いっ切りチャレンジする、あるいは夢にも思わなかった強豪チームと対戦できることも可能になることは間違いない。その舞台に各都道府県の旗がはためいている。素晴らしく楽しい気持ちがするし、闘志も高揚するのではないだろうか。

空想論と言わないで、一度真剣に考える機会を持ってもらえればと思う。激しさ、楽しさ、面白さを一般にアピールするチャンスにもなるのではとも思うのだが……。

呼吸する建築

Swindow◎スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。

Wincon◎ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。

Cavcon◎キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

ヨーロッパ情報

第3回：ヨーロッパの国内大会

村松　誠（編集委員）

前回は、ヨーロッパ大陸のチャンピオンズリーグについてお伝えしました。2009/10年シーズンも順調に進んでおり、男子は24チームでグループフェーズを戦っています。今年も現在、前回上位に進出した、シウダット・レアル（スペイン）、THWキール（ドイツ）、ライン・ネッカー（ドイツ）などのチームが順調に勝ち星を重ねています。一方女子は、16チームでのグループマッチが始まりました。前回優勝のビーボー（デンマーク）、ヒポ（オーストリア）、ライプチッヒ（ドイツ）などは白星発進しましたが、前回準優勝のジェールは、黒星発進となりました。

今回は、ヨーロッパの国内大会について、デンマークを事例にしてお伝えします。

チャンピオンズリーグなどヨーロッパカップに出場するためには、各国、国内大会を勝ち抜かなければなりません。強豪国では、チャンピオンズリーグ、EHFカップ、カップウィーナーズカップ、チャレンジカップにその順位によって割り当てられますので、リーグの順位は、日本のように優勝と入れ替え戦に関わる以外は同じと言うわけには行きません。一つ順位が違えば、その先に行ける所が違ってきますので、最後まで順位争いも熾烈になるわけです。

2つの大きな大会

デンマーク、ドイツなどもそうですが、国内大会には、日本の日本リーグに当たる全国リーグと、トーナメント方式の全日本総合に当たるポカール（POKAL）と呼ばれる2つの大きな大会があります。リーグ戦は、ドイツではブンデスリガと呼ばれていて、サッカーでも同じですのでご存知の方も多いと思います。このリーグは18チームで戦われています。この下に2部リーグとして、北と南に分かれ18チームずつが戦っています。

デンマークでは、トップリーグは冠大会になっています。毎年その名前が変わっていますが、今年は男子が「Jack & Jones」リーグ、女子が「GuldBageren」リーグと呼んでいます。男子が14チーム、女子が12チームで構成されています。それぞれ最下位チームは次のシーズンは下位のリーグに自動降格します。一つ下のリーグは、1ディビジョンと呼ばれています。ドイツではブンデスリガに2部ブンデスリガと呼んでいますが、デンマークでは、1部が冠大会になっており、2部を1ディビジョンと呼んでいるところが面白いところです。1ディビジョンには、男女それぞれ14チームが参加しています。ここまでのリーグをデンマークハンドボール協会が管理運営をしています。1ディビジョンの下は2ディビジョンになりますが、2ディビジョンからは地域協会が管理運営をしており、3つのリーグに分かれています。そして、2ディビジョンの下位3チームは、次年度3ディビジョンに自動降格となります。

デンマークの地域協会

ここで、これらの大会を管理運営するデンマークの地域協会について述べておきます。デンマークの地域協会は、日本で言えば、地域的な広がりから見て、都道府県協会にあたるものでしょう。デンマークには、シェラン、ユラン、フュン、コペンハーゲン、ロラン・ファルスター、ボルンホルム、グリーンランドの7つの地域協会があります。ここで興味深いのは、グリーンランド協会です。先の男子世界選手権にはグリーンランドとして代表が出場しています。サッカーでは、世界の国の数より世界のサッカー協会の数のほうが多いと言われます。イギリスでは、FIFA（国際サッカー連盟）が設立された時の経緯から、4つの協会がFIFAに加盟していることもあるでしょうが、グリーンランドのように自治領が独自の国際的活動をしている地域も多いのでしょう。ハンドボールもまだまだ国際的発展をして行く可能性が大きいと言うことでしょう。

これらの協会の設立を見ていくと、日本と違った面が見えてまた興味が湧きます。それは、歴史的発展の経緯です。ハンドボール競技は、1897年にデンマークのニューボーで初めてプレーされたことは、国際ハンドボール連盟も認めているところですが、それからデンマーク各地に普及して行ったことでしょう。協会設立を見れば1931年にシェランハンドボール協会が先ず設立され、活動を始めています。そしてユランとフュンのハンドバール協会が続いて設立されています。デンマークハンドボール協会は、シェランハンドボール協会が設立されて、5年後、おそらくこれらの協会を統括するために設立されています。現在では、デンマークハンドボール協会はコペンハーゲンにあり、国際的な事業のみを行っているとのことです。強化や普及などの事業は、ニューボーにあるデンマークハンドボール協会が中心となって行っているようです。事実、デンマークハンドボール協会とヒュンハンドボール協会の事務所は同じところにあります。

一方日本の歴史的発展を見てみますと、日本協会より早く設立されたのは昭和13年の岡山県協会のみです。やや遅れて、日本協会が同じ昭和13年（1939）に設立されています。続いて昭和14年に大阪協会が設立されますが、その後は第二次世界大戦後になります。その後昭和30年までにほとんどの都道府県協会が設立されますが、これは歴史的に見て国民体育大会との関連が大きいことは明らかです。

つまり、日本では国民体育大会を契機として、日本協会から地方協会へとトップダウンの発展を遂げてきたといえるでしょう。デンマークでは、地方協会からそれらを統合する組織へと、ボトムアップで発展してきたといえるでしょう。そのため、デンマークでは地域協会の主体性が高く、各事業が活性化しているのではないでしょうか。今回は大会のみを取り上げていますが、普及、強化、指導、審判などの各事業も同様に行われているのではないでしょうか。

クラブの活動

リーグ戦システムのところから、若干話はそれてしまいましたが、リーグ参加

の主体であるクラブについて少し述べたいと思います。これは、リーグ戦を理解するために参考になると思うからです。ここでは、デンマークトップリーグで長く活躍しているGOGのクラブを事例にしてみたいと思います。日本では地域総合型スポーツクラブということが言われますが、ヨーロッパのクラブの多くはこの総合型で、多くの種目を実施しているようです。有名なところでは、チャンピオンズリーグに出てくるスペインのFCバルセロナはフットボールクラブバルセロナで、サッカーで有名なクラブでハンドボールのチームも持っているわけです。

GOGに戻りますが、GOGはデンマークでもハンドボールに特化したクラブのようです。ほかにバドミントンもあるようですが、私が行った時にはその姿を見ていません。他のクラブでは、バドミントンのほかに、バレーやバスケットボールなども行っているところもありました。5年前には、男女ともGOGでトップリーグに出場していましたが、昨今の経済状況のためか、男子は当時1ディビジョンのスベンボーと合併しGOGスベンボーとなっていますし、女子は今年度からオーデンセGOGとなっています。ヨーロッパでも経済状況の悪化はクラブ経営に影響を与えているようです。

クラブの全体像を示すために、GOGハンドボールクラブのチームの表を示します。

これは、GOGのチームトレーナーを紹介したものですが、チームの様子と数が分かっていただけると思います。男子では、トップリーグに2ディビジョンにヒュンリーグに3チーム、そしてオールドボーイズ、日本のマスターズチームと言うことになりましょうか、成年男子で6チームがあります。その下にジュニアチーム、子供のチームなど11チームがあります。同様に女子も、トップチーム、2ディビジョンなどで4チーム、子供のチームなど12チームなど合計で33チームが作られています。ここで特徴的なのは、それぞれのチームが大体12名前後で作られていることです。トレーナーによれば、ゲームは12～13名しか使わないのでそれ以上は必要ないと言っていました。日本では、何十名もチームで抱えろくに試合も出来ないのとは大違いです。このあたりにも経験の差が出てくるのではないでしょうか。

下部リーグの構成

トップリーグと1ディビジョンは、男女それぞれ1リーグずつデンマークハンドボール協会によって管理運営されています。2ディビジョンから下は、地域に分かれて運営されています。2ディビジョンは、3地域に分かれて、女子は12チームずつのリーグになっています。第1リーグと第2リーグはユラン協会が管理運営、第3リーグはシェラン協会が管理運営しているようです。3ディビジョンは6地域に分かれていますので、2ディビジョンの下位2チームは、自動的に次年度3ディビジョンに降格となることは前述のとおりです。男子2ディビジョンは、第1と第2リーグが12チームずつになっており、ユラン協会の管理運営のようです。第3リーグは14チーム構成となっておりシェラン協会の管理運営のようです。

3ディビジョンは6リーグ構成となっており、男女とも第1から第4リーグまでユラン協会、第5、第6リーグがシェラン協会の管理運営となっているようです。基本的に12チーム構成ですが、どういう訳か、男子の第4リーグと、女子の第6リーグは11チーム構成になっています。ここらあたりも、経済的影響による、クラブの再編が影響しているのかもしれません。

ここで興味を引かれるのは、1ディビジョンでは見られないのですが、2ディビジョンになると、トップチームや1ディビジョンの第2チームが同じ名前で出場していることです。下のGOGの表でも出ていますが、トップチームの他に、2ディビジョンにGOG 2と言うチーム名で参加しています。2ディビジョン、3ディビジョンには多く出てきます。

この下のリーグは、日本で言えば各都道府県リーグがあるようです。フュンにはフュンのリーグとポカールが開催されています。まさに、全ての人が大会に参加できるシステムとなっていて、いつでも、誰でも、どこでも、自分に合ったハンドボールが出来る環境があると言えるのではないでしょうか。

ゲームは全てホームアンドアウェイで行われますので、12チーム編成として年間22ゲームをリーグ戦として戦い、その他にポカールを戦います。トップチームのあるトレーナーは、多い時には週に3ゲームもあり大変だと言っていたほどです。

トーナメント戦

トーナメント形式の全国大会は、前述のようにポカールと言われます。日本で言えば全日本総合になりますが、形式的にはサッカーの天皇杯です。クリスマスの後から始まり、次のクリスマスまで、約一年かけて行われます。前年度、女子はリーグとポカールともに、ビーボーが優勝し、前回お伝えしたとおり、そのままチャンピオンズリーグも制覇しました。男子のほうは、リーグはFCKが優勝しましたが、ポカールではホルステブロが優勝しています。

この大会には全国で300以上のチームが参加します。最初はユラン、フュン、コペンハーゲンなどの地域で行われ、その後、全国レベルの戦いになります。対戦は全て抽選で行われ、所属リーグによって出場してくる段階が違います。今年はすでに第3ラウンドに入っています。

最終的には、トップリーグの8チームと全国から勝ち抜いた8チームの対戦となります。これに勝ち抜いたチームがその年のベスト8と言うことになります。

GOGAVIS Side 51

Trænerstaben er på plads

GOG: Der er uændret besætning i spidsen for begge GOG's ligahold i næste sæson, og stort set hele den øvrige trænerstab er på plads med nogenlunde uændret udseende på de vitale pladser

På herresiden er situationen som følger:

Liga: Bent Nyegaard og Carsten Albrektsen

2. division: Flemming Larsen

Fynsserien: Uafklaret.

Serie 1: Torben Ryg.

Serie 3: Kristian Petersen

Serie 3: Jens Brandt og Simon Krogh

Old boys: Rasmus Larsen

Ynglinge 1: Claus Bjarke Hansen.

Ynglinge 2: Uafklaret.

Junior 1: Frank Lajer og Sune Green.

Junior 2/3: Uafklaret.

Drenge 1: Thomas Christiansen

Drenge 2: Jens Jørgen Møller.

Drenge 3: Uafklaret

Puslinge 1: Jens Brandt

Puslinge 2: Matias Albrektsen

Lilleput 1: Søren Kildelund og Bent Møller.

Lilleput 2: Susanne Bogetoft.

På damesiden er disse navne på plads:

Liga: Søren Haagen og Peter Bruun Jørgensen.

2. division: Hans Groth og Hanna Mezei

Fynsserie: Anette Kildelund.

Serie 3: Uafklaret.

Motion: Jette Rasmussen

Ynglinge 1: Sten Kaj Larsen.

Ynglinge 2: Lise Stenstrup

Junior 1: Peter Rasmussen

Junior 2: Kristian Nygård

Junior 3: Uafklaret.

Piger 1: Poul Syberg.

Piger 2: Dag Munk

Piger 3: Rose Munk.

Puslinge 1: Annette Møller og Monique Feijen.

Puslinge 2: Jacob Thomsen

Lilleput 1: Bente Petersen

Lilleput 2: Annette Møller.

IHFコーチ・レフェリーシンポジウム報告

(財) 日本ハンドボール協会強化委員／NTS副委員長／女子代表チームコーチ　栗山 雅倫

2009年7月29日～8月1日、チュニジアのチュニスにおいて、国際ハンドボール連盟主催、コーチ・レフェリーシンポジウムが開催されました。過去に開催された同シンポジウムと同様、世界の動向を確認する良い機会となりました。尚、各国ともこのシンポジウムを非常に高く位置づけているようで、相当の参加国数でありました。このような場で、ナショナルコーチおよび強化関係者等が積極的な情報交換をしているようであります。

日本から参加させて頂いたのは、レフェリー部門で植村彰常務理事、コーチ部門では、私が参加させていただきました。今回は世界ユース大会との共催ということもあり、コーチサイドへ向けた情報発信では一貫指導や若年層の育成がメインテーマとなっており、日本が抱える課題を考えると、タイムリーな話題であったのではないでしょうか。世界をリードするヨーロッパ各国とも、いわゆるベースの定着を非常に大切に考えており、スピーディーでクオリティの高いプレイヤーの育成に重点を置いていることが印象的でした。一方レフェリーサイドでは、新たなシーズンへ向けたルール改正に終始した内容でありました。

以下、主な内容を中心に少し詳細についてご報告させて頂きます。

一貫指導について

世界ユース大会への参加チームのうち、ドイツ、デンマークなどが中心になって、実態の情報提供がなされました。

まずドイツ、デンマークとも共通していたことは、ナショナルチームへのリンクを図っており、現在、日本で展開している“NTS”（ナショナルトレーニングシステム）と同様の形態で選手の発掘と人材確保を展開しているということです。デンマークでの具体例を少し追いかけると、選手発掘、育成において日本より地域レベルに根ざした形態で展開しており、特に育成では、日本の例に当てはめると、ブロックレベルでのアカデミーを展開していることが判りました。更に、ブロックを細分化し、月に数度の集合トレーニングを実現しており、コーチ間の連絡もメールを中心に綿密に行っている他、全体が集まる機会は無いもののブロック内でのコーチミーティングや、ブロック代表を集めたミーティングを行っているといった木目細かさが窺えました。

日本のここまでの動向と比較すると、やり方の構造自体は大きく変らないものと考えますが、アカデミー的な機能の充実は参考になると思われます。また、各国の担当者と意見交換をしましたが、「国の情勢にあった展開が重要」との共通意見でした。当然のことながら、ヨーロッパ諸国は情報交換が容易であり、世界のトレンドを一貫指導に良く反映している様子が窺えました。一方で、一貫指導だからこそ、普遍的に取り組んでいかねばならない内容もあるとの共通見解を得ました。

コーディネーショントレーニング

今回は若年層への指導をメインテーマとしていたため、トレーニング内容もファンダメンタルな能力のアップへ向けたものが多く、特に、コーディネーショントレーニングは関心を惹かれました。

ドイツハンドボール界からは、IHF講師であるクラウス・フェルドマンによる実践紹介がありました。氏のトレーニングは、ハンドボールに必要な諸能力のベースからコーディネーショントレーニングにて開発することを目的としており、特に若年層を対象とした内容が多く、又若年層にとって非常に重要な位置づけであるとして紹介されました。これらは、日本の“NTS”や“アカデミー”にとって極めて重要と思われました。

具体的には、身のこなしから技術への結びつきがある内容で、非常に有効なトレーニングでした。更に詳しくは、いずれ国内のシンポジウム等での報告がなされるものと思われますが、ヨーロッパの技術先進諸国が、大型選手（将来の）にも適用しているトレーニングで、現状のように大きいがクオリティの高い選手を輩出している事実は見逃せません。

最新情報の獲得の場として

冒頭でも少し触れさせていただきましたが、このシンポジウムは情報交換の場としても、非常に高い位置づけがなされています。今回はアフリカ地域での開催で、参加者が小規模になるのではと各国とも予想していたようですが、にも拘わらず多くの参加国での開催となり、改めて重要性を認識させられました。

まず、技術・戦術的情報は、間違いなく公開される場であります。更に、公開された情報に関し、他国スタッフと情報交換する為にも最良の機会に間違いありません。

レフェリーサイドの情報なども、後日、詳しい報告がなされると思いますが、特にその解釈の詳細について、直に質問できる機会でした。いずれの内容にしても、有益な情報が多く、今回は特にルール改変とそれに伴う技術開発のためにも、情報伝達の場が必要と思われます。

チュニジアの動向

アフリカ地域を代表する国として、特にハンドボール界では顕著な動きの多い国ですが、今回も、世界ユース大会との併催を実現するなど、国際的にも非常に機能していると考えられます。チュニジアハンドボール協会関係者の話では、今後も鋭意このような活動を展開したいとのことであり、益々の発展を予感させるものとなりました。

この度は、貴重な機会を与えていただき有難うございました。“NTS”をはじめ、指導委員会等への報告を通し、有益な情報公開に努めたいと思います。

「ハンドボール競技のスポーツ医・科学研究（2005 ～ 2009）」
発刊のご案内

本書は、数年間に一度、日本ハンドボール協会／医事専門委員会ならびにアンチ・ドーピング特別委員会が数年間に亙り実施してきた調査研究、メディカルサポート、国際大会・会議及びアンチ・ドーピング等の活動の記録を編集したものである。

まさに現在、2012年ロンドンオリンピック出場を目標に、胎動を始めようとしているこの時期に、本報告書が刊行できました意義は、日本ハンドボール競技が世界の競技力水準に到達するための一助となることへの願望でもありましょう。

作成の担当は、競技選手の強化指導の担当スタッフ、医療分野のサポートを担当するドクター・トレーナー及び医・科学研究の担当者等であり、各種別男女が実際の調査・研究活動に協力参加された実際データが活用された内容である。

本報告書は、第５巻であり、過去の４巻も合わせての活用をお願いしたい。

それぞれの主要内容を紹介する。

■第１巻（1960 ～ 1994）	全日本男女の体力処方とスポーツ障害（53題）
■第２巻（1960 ～ 1994）	１．ハンドボール選手の体力 ２．メディカルサポート ３．コンディショニング
■第３巻（1995 ～ 2000）	１．体力 ２．コンディショニング ３．アンチ・ドーピング
■第４巻（2001 ～ 2005）	１．栄養とコンディショニング ２．メディカルサポート ３．アンチ・ドーピング ４．国際大会・国際会議、医事専門委員会活動現況
■第５巻（2005 ～ 2009）	１．スポーツ医科学研究（栄養・水分・コンディショニング） ２．メディカルサポート（ドクター／トレーナー帯同報告） ３．歯科マウスガード他 ４．JHAアカデミーの基本的な考え方 ５．アンチ・ドーピング－ドーピング防止活動 JHA医事専門委員会、アンチ・ドーピング特別委員会

2008年度レフェリーコースおよび 2009年度全日本実業団選手権大会に参加して

佐々木皇介・安田　達（広島県協会所属）

私たちペアはまず、2006年度中四国学生リーグで学生審判員として初めてコンビを組むことになりました。中四国学生リーグにはベストレフェリー賞という賞があり、やるからにはその賞を取ると目標を立て、まずは広島県の高校生の大会などで指導をいただきました。その時は、広島県協会審判長の久保氏や広島経済大学監督で国際審判員の檜崎氏、そして高野氏による指導がありました。

2008年度にC級の申請をさせていただき、次に中国ブロック大会に参加させていただき、中国ブロック審判長である藤井氏からも御指導いただきました。

そして、2008年度中四国学生春季リーグにおいてベストレフェリー賞を獲得することができました。そこで目標を達成し、次の目標「全国大会の担当」を新たに立て、檜崎氏に勧められてレフェリーコースに参加することにしました。

前期レフェリーコースは滋賀県で行われた長浜カップでの研修。後期レフェリーコースは神奈川県で日本体育大学での実技、競技規則の試験。

長浜カップでは、午前～夕方まで徹底的に御指導いただきました。まず立ち居振る舞い、ジェスチャーなどレフェリーとしの基礎です。そこに至るまで私たちはペアで何試合も経験し、まだまだではありましたが、ここまで出来ていないのかと思い、レフェリーとしての基礎を徹底しようと話し合いました。

そしてレフェリーコース前期を終えて広島に帰ってからは、まず立ち居振る舞いなどを徹底しました。私たちが担当させていただいた試合でビデオをとり、お互いで動作はきちんとしているかなどを話し合いました。また、動作も大事でしたが判定の基準づくりにもかなり時間をかけました。ただ何試合を吹けばよいという考えではなく、何試合も担当し、さらに試合が終われば御指導いただくのはもちろん、次の担当までの間は他の試合を見ながら話し合い、お互いの考えを共有しました。そんな中でぶつかることもありました。

そして後期まで広島県以外に関西に行かせていただきました。関西では関西学生リーグを担当させていただきました。関西学生リーグは競技レベルも高く、普段では考えられないようなプレーもあり、レフェリーとして、さらにまだ現役の選手としても幅が広がったように思いました。関西でも様々な方から御指導をいただきました。そして競技レベルが上がっても私たちの基準を貫き通すというのを関西では目標としていました。

レフェリーコース後期は、日本体育大学で行われた試合を担当しました。後期は、今まで私たちがやってきたことを披露できたように思いました。私たちペアが最も重要で日々研究している基準づくりという点です。さらに日本体育大学は競技レベルでは日本の学生界ではトップクラスで、そこを経験することは、私たちペアにとってさらにレフェリーとしての引出しを増やしてくれたように思いました。

レフェリーコースで合格をいただき、その年に全日本実業団選手権大会の参加のお話しをいただきました。全日本実業団選手権大会では、日本のトップレフェリーの方と同じ土俵に立つということで、大変緊張しました。試合を担当し、様々なお話しを聞くことができ、私たちペアのハンドボールに対しての考えは変わったように思います。そして観客の存在も私たちの考えを変えてくれました。

今までは観客の存在は、私たちがレフェリングをするうえでそれほど関係ないと思っておりましたが、観客の方はお金を払い試合を見に来ていると思うと、私たち審判員のせいでおもしろくない試合には絶対したくないと思いました。試合は、選手・ベンチ・レフェリーではなく選手・ベンチ・観客・レフェリーだと思いました。この4つが一体となれば、どんなにおもしろく感動的な試合になるのだろうと思いました。

これから次の目標として私たちは日本のトップリーグである「日本リーグへの参加」を挙げます。そして、これから様々な苦難や壁に当たるかもしれませんが、一つ一つ乗り越え日々努力しハンドボールという一つの競技を追及していきたいと思います。

これはゴールのない目標ですが、私たちなりに研究していきたいと思います。また、レフェリーとして目標を立てクリアーし、また目標を立てという形で進んでいきたいと思っております。

第19回女子世界選手権日本代表メンバー決定！

「第19回女子世界選手権」に出場する日本代表メンバーが決まりましたのでお知らせいたします。また、世界選手権までの活動予定もお知らせします。

＜黄女子代表監督コメント＞
世界選手権は、予選ラウンドから世界ベスト4に入る強豪国と闘う事になっている。日本はその世界を驚かす事が出来ると確信しているし、思い切ってチャレンジしたい。

＜藤井キャプテンコメント＞
日の丸を背負って戦う重み、責任を持って1戦1戦を大切にし、チーム一丸となってまずは予選リーグ突破を目指します。

【活動予定】
☆第6回国内強化合宿
11月11日（水）～14日（土）味の素トレセン
☆スペイン遠征
11月14日（土）～24日（火）スペイン
＊スペイン国際大会（参加国：日本、スペイン、アンゴラ、スロベニア）及び強化合宿
☆第7回国内強化合宿
11月24日（火）～12月2日（水）
味の素トレセン
☆第19回女子世界選手権
12月5日（土）～20日（日）中華人民共和国

第19回女子世界ハンドボール選手権　選手名簿

日時：平成21年12月5日（土）～20日（日）　場所：中華人民共和国

	背番号	ポジション	名前	ふりがな	所属
1	3	CP	高橋　恵	たかはし　めぐみ	ソニーセミコンダクタ九州
2	4	CP	上町　史織	かみまち　しおり	北國銀行
3	5	CP	伊藤　亜衣美	いとう　あいみ	三重バイオレットアイリス
4	6	CP	植垣　暁恵	うえがき　あきえ	広島メイプルレッズ
5	7	CP	新城　明奈	しんじょう　あきな	広島メイプルレッズ
6	8	CP	佐久川　ひとみ	さくがわ　ひとみ	韓国・大邱市庁
7	9	CP	坂元　智子	さかもと　ともこ	オムロン
8	10	CP	藤井　紫緒	ふじい　しお	オムロン
9	11	CP	仲宗根　彩	なかそね　あや	北國銀行
10	14	CP	巻　加理奈	まき　かりな	オムロン
11	16	GK	田代　ひろみ	たしろ　ひろみ	北國銀行
12	17	CP	東濱　裕子	ありはま　ゆうこ	オムロン
13	18	CP	横嶋　かおる	よこしま　かおる	北國銀行
14	20	CP	石立　真悠子	いしたて　まゆこ	オムロン
15	22	GK	藤間　かおり	ふじま　かおり	オムロン
16	25	CP	田邉　夕貴	たなべ　ゆき	大阪体育大学

＊10月21日現在の予定メンバー

第61回全日本総合選手権大会の日本協会推薦枠に「ユース日本代表」（男女）を選出

12月に開催されます第61回全日本総合ハンドボール選手権大会（男子：12/16-20 駒沢体育館、女子：12/24-27 高松市香川総合体育館）の日本協会推薦枠に、本年は男女とも「ユース日本代表」を選びました。

男子は、今年7月に行われたユースオリンピックアジア予選（韓国）で2位、女子は、今年7月に行われたユースアジア選手権兼ユースオリンピックアジア予選（ヨルダン）で2位となり、韓国に肉薄した点を評価しました。

アンダーではありますが、日本代表チームが本大会に出場することは61回の歴史の中でも初めてのことです。

【男子】
日本リーグチーム　（8）　1）大同特殊鋼、2）大崎電気、3）湧永製薬、4）トヨタ車体、5）トヨタ紡織九州、6）北陸電力、7）琉球コラソン、8）豊田合成
全日本学生連盟　（2）　1）日本体育大学、2）筑波大学
ジャパンオープン　（2）　1）三重ホンダクラブ（優勝）、2）FOG（2位）
日本協会推薦　（4）　1）東海大学、2）日本大学、3）Honda、4）ユース日本代表

［合　計　16］

【女子】
日本リーグチーム　（6）　1）オムロン、2）北國銀行、3）ソニーセミコンダクタ九州、4）広島メイプルレッズ、5）三重バイオレットアイリス、6）HC名古屋
全日本学生連盟　（2）　1）東京女子体育大学、2）大阪教育大学
ジャパンオープン　（2）　1）香川銀行T・H（優勝）、2）HC.TSUKUBA（2位）
日本協会推薦　（2）　1）大阪体育大学、2）ユース日本代表

［合　計　12］

スコアールーム

第64回国民体育大会

開催期日：2009年10月２日(金)～６日(月)
会　場：新潟県・柏崎市体育館ほか

【成年男子】

▼１回戦

三重県 38（17－11、21－10）21 秋田県
山口県 36（17－10、19－13）23 北海道
神奈川県 33（14－12、19－18）30 福井県

▼２回戦

埼玉県 35（16－13、19－17）30 三重県
京都府 37（15－13、22－８）21 香川県
茨城県 42（20－13、22－13）26 石川県
広島県 42（20－７、22－８）15 宮崎県
佐賀県 40（17－７、23－７）14 山口県
大阪府 27（11－13、16－10）23 新潟県
熊本県 21（12－12、９－７）19 岩手県
愛知県 41（24－11、17－11）22 神奈川県

▼準々決勝

埼玉県 42（19－９、23－９）18 京都府
広島県 42（23－７、19－13）20 茨城県
佐賀県 45（21－８、24－20）28 大阪府
愛知県 40（16－９、24－10）19 熊本県

▼準決勝

広島県 29（13－13、16－15）28 埼玉県
愛知県 30（16－12、14－13）25 佐賀県

▼３位決定戦

佐賀県 36（20－10、16－16）26 埼玉県

▼決勝戦

広島県 29（16－11、13－10）21 愛知県

【成年女子】

▼１回戦

石川県 35（16－８、19－10）18 兵庫県
熊本県 30（15－６、15－９）15 三重県
宮城県 39（16－12、23－８）20 新潟県
広島県 19（11－６、８－７）13 神奈川県
鹿児島県 44（22－７、22－７）14 福井県
大阪府 28（13－14、15－12）26 愛知県
香川県 35（17－４、18－11）15 岩手県
茨城県 59（30－７、29－６）13 北海道

▼準々決勝

熊本県 26（16－13、10－12）25 石川県
広島県 39（21－10、18－12）22 宮城県
鹿児島県 44（26－10、18－10）20 大阪府
茨城県 31（15－12、16－10）22 香川県

▼準決勝

熊本県 27（16－９、11－17）26 広島県
鹿児島県 38（21－８、17－11）19 茨城県

▼３位決定戦

広島県 30（14－13、16－８）21 茨城県

▼決勝戦

熊本県 28（10－10、14－14）27 鹿児島県
（４－１　延長　０－２）

【少年男子】

▼１回戦

福井県 38（19－11、19－15）26 茨城県
大阪府 29（14－13、15－11）24 岐阜県
宮崎県 47（24－６、23－８）14 東京都
岩手県 23（９－10、14－９）19 北海道
長崎県 29（13－13、16－14）27 香川県
山口県 37（18－11、19－７）18 新潟県
秋田県 32（14－17、18－９）26 兵庫県
神奈川県 25（10－10、15－12）22 愛知県

▼準々決勝

福井県 37（20－14、17－10）24 大阪府
宮崎県 32（14－10、18－17）27 岩手県
山口県 32（16－16、16－14）30 長崎県
秋田県 27（14－13、13－13）26 神奈川県

▼準決勝

福井県 36（18－10、18－13）23 宮崎県
山口県 28（17－11、11－11）22 秋田県

▼３位決定戦

宮崎県 38（14－16、16－14）35 秋田県
（５－１　延長　３－４）

▼決勝戦

福井県 34（19－11、15－17）28 山口県

【少年女子】

▼１回戦

岩手県 20（６－７、14－８）15 長崎県
山口県 35（18－10、17－４）14 北海道
鹿児島県 28（12－13、16－14）27 埼玉県

▼２回戦

大阪府 27（８－10、19－７）17 岩手県
岐阜県 28（20－６、８－13）19 山梨県
岡山県 27（14－６、13－４）10 新潟県
香川県 23（15－９、８－13）22 東京都
京都府 31（19－10、12－11）21 山口県
熊本県 28（15－10、13－14）24 千葉県
石川県 29（13－９、16－９）18 秋田県
愛知県 37（18－16、19－12）28 鹿児島県

▼準々決勝

大阪府 22（11－８、11－11）19 岐阜県
香川県 24（11－10、13－９）19 岡山県
京都府 31（18－８、13－11）19 熊本県
愛知県 40（18－15、22－15）30 石川県

▼準決勝

大阪府 25（18－11、７－11）22 香川県
京都府 35（16－13、19－13）26 愛知県

▼３位決定戦

香川県 40（19－20、21－14）34 愛知県

▼決勝戦

京都府 28（14－５、14－14）19 大阪府

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」10月入会・継続会員

【茨　城】野村　正志、安田　博之 【埼　玉】寺尾　かほる 【千　葉】川越　三永実、稗本　政子、岡本　聡
【東　京】東尾　吉信、荒川　晶夫 【神奈川】白井　章 【富　山】若松　路夫 【愛　知】山本　淳子、
秋田　真理子、柿原　和幸、熊田　祐子、坪井　夕香、岡田　洋典 【大　阪】布目　明子、西端　美重子、
中塚　富佐子、小藪　律子、松尾　梢 【岡　山】福岡　誉之 【広　島】木下　しのぶ、塩屋　正子

【12月・1月の行事予定】

【会　議】

12月12日(土)　常務理事会（東京）
1月9日(土)　常務理事会（東京）

【大　会】

12月5日(土)～20日(日)（中華人民共和国）
　第19回女子世界選手権
12月16日(水)～20日(日)（東京都・駒沢体育館）
　第61回全日本総合選手権大会（男子）
12月24日(木)～27日(日)（香川県・高松市香川総合体育館）
　第61回全日本総合選手権大会（女子）
12月25日(金)～28日(月)（愛知県・名古屋市）
　第18回JOCジュニアオリンピックカップ

HANDBALL CONTENTS Dec.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第五〇六号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成二十一年十一月二十六日印刷 平成二十一年十二月一日発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表〇三ー三四八一ー二三六一
振替 〇〇一二〇ー七ー一〇二九三
編集兼発行人 川上憲太
定価 年間三三〇〇円